

## 「赤磐×浪江`ゆい(結)フェア、in KITTE」を開催

10月22日(土)・23日(日)、KITTE地下1階(東京都千代田区丸の内)において、岡山県赤磐市と浪江町の「地域活性化包括連携協定」に基づく共催イベント「赤磐×浪江`ゆい(結)フェア、in KITTE」が開催されました。

当日は、復興庁から竹谷とし子復興副大臣を来賓にお迎えし、多くの来場者に復興のご理解とご協力、2市町の特産品の販売とステージイベントなどを盛況に開催しました。

特産市においては「磐城壽ゆい」などの特産品販売を行い、「なみえ焼そば」は両日も完売するなど好評でした。

自治体応援PRステージ「浪江女子発組合」のトークショーでは浪江町の魅力や特産品の紹介、「ご当地キャラPRステージ」では`うけどん、と`あかいわももちゃん、から両自治体にまつわる「クイズ」や、新曲のコラボソングとダンスを披露しました。

来場者の皆さんから「浪江町出身で、久しぶりに`浪江、に触れることができ嬉しかった」、「浪江町にすごく興味を持った」など、温かい声をいただきました。

岡山県赤磐市と浪江町は、平成23年の震災以降、職員派遣などの災害復興支援を契機に交流を続けていますが、今後も継続し相互の地域発展に取り組みます。



竹谷とし子復興副大臣(中央)と友貴武則赤磐市長(左)と吉田栄光町長(右)



特産市の様子

問 企画財政課企画調整係 TEL 0240(34)0240

## なみえプロモーション課通信 Vol.15

こんにちは！なみえプロモーション課の吉野です。いよいよ今年も残すところ1か月となりましたね。そこで、私の一年間の主な活動をご報告させていただきます。

一つ目は、町民の皆さんに浪江町の日常を写ルンです(インスタントカメラ)で撮影いただき、魅力再発見につなげる「Nami photo展」を道の駅なみえのほか、無印良品東京有明店、福岡県福津市津屋崎の旧靴屋でも開催しました。これまで浪江町のことを知らなかった人や、浪江町の印象が遠い記憶で止まっていた人が、写真展をきっかけに浪江町に対する印象がアップデートされ、浪江町の日常が他の町と同じように流れているその事実を知っていただく事にもつなげることができました。

二つ目は、仙台市の「食べて応援しよう！」や、郡山市の「KFBまつり」など町外でのイベントに参加し、`うけどんと一緒に浪江町をPRする機会も増えました。町のPRをするだけでなく、町外の人や避難先で暮らしている町民の皆さんとも交流させていただき、賑やかだった浪江町の歴史や出来事を知る、良い機会になりました。

今年一年間も町では様々な変化がありましたが、個人的には「ふれあいセンターなみえ」の開館が大きな出来事です。移住してから本屋さんがほしいなあと考えていた私にとって、ふれあいセンターなみえが開館し、図書館が復活したことは本当に嬉しかったです。新刊も豊富に蔵書されており、時代に合わせた本もチョイスされているのはいいなと思いました。

皆さんは今年一年間いかがでしたでしょうか？振り返ると、あっという間だったように思います。来年もどうぞよろしくお願いいたします。皆さんがすてきな年の瀬を迎えられますように☆☆☆

問 なみえプロモーション課 TEL 070(1397)2972